

資質・能力の三つの柱に沿った、幼児教育において育成すべき 資質・能力の整理イメージ（たたき台）

以上
小学校

個別の知識や技能

(何を知っているか、
何ができるか)

思考力・判断力・表現力等

(知っていること・できることを
どう使うか)

学びに向かう力、人間性等

情意、態度等に関わるもの
(どのように社会・世界と関わり
よりよい人生を送るか)

※下に示す資質・能力は例示であり、総合的な指導を通じて育成される。

個別の知識や技能の基礎

(遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、
何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか)

- ・ 基本的な生活習慣の獲得
- ・ 様々な気付き、発見の喜び
- ・ 規則性、法則性、関連性等の発見
- ・ 日常生活に必要な言葉の理解
- ・ 身体的技能や芸術表現のための基礎的な技能の獲得
等

思考力・判断力・表現力等の基礎

(遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなども使い
ながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)

- ・ 試行錯誤、工夫
- ・ 予想、予測、比較、分類、確認
- ・ 他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ
- ・ 言葉による表現、伝え合い
- ・ 振り返り、次への見通し
- ・ 自分なりの表現
等

- ・ 思いやり
- ・ 安定した情緒
- ・ 自信
- ・ 相手の気持ちの受容
- ・ 好奇心、探究心
- ・ 葛藤、自分への向き合い、折り合い
- ・ 話合い、目的の共有、協力
- ・ 色・形・音等の美しさや面白さに対する感覚
- ・ 自然現象や社会現象への関心
等

学びに向かう力、人間性等

(心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか)

幼
児
教
育

幼稚園教育要領の構造化のイメージ（仮案・調整中）

人格の完成を目指し、平和で民主
 的な国家及び社会の形成者として
 必要な資質の育成を期す

教科横断的・総合的に育成すべきさまざまな資質・能力

小学校以上	個別の知識や技能 (何を知っているか、 何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)
-------	-----------------------------------	---------------------------------------	--

幼児教育

個別の知識や技能の基礎
 (遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、
 何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか)

思考力・判断力・表現力等の基礎
 (遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことな
 ども**使いながら**、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現した
 りするか)

学びに向かう力、人間性等
 (心情、意欲、態度が育つ中で、**いかによりよい
 生活を営むか**)

※ 指導に当たっては、幼児期の
 発達の特性に十分な配慮が必要。

カリキュラム・マネジメント

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ※ 資料7と連動して修正
 健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え
 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重
 数量・図形、文字等への関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現

遊びを通しての総合的な指導

領域

- ・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う
- ・他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う
- ・周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う
- ・経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う
- ・感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする

アクティブ・ラーニングの視点に立った深い学び、対話的な学び、主体的な学びの実現